

おとずれ

(発行者)富士吉田カトリック教会

(住所)〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL)0555-22-3199

(FAX)0555-25-7002

2025年9月第517号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>



堅信と共同体の恵み

佐々木カブリー二成子

「たとえ英雄的なことではできなくても、日々の生活の中での本当に小さなことが、誰かにとって励ましの源になることがあるのです。」梅村司教様のお言葉を通して、その場にいた一人ひとりにとって、この日はとても深い意味を持つのだと感じました。8月24日の堅信式ミサは、およそ7年ぶりに行われ、私たち富士吉田カトリック教会にとって聖なる喜びの日となりました。11名の受堅者(そのうち6人は子ども)が、家族や友人、そして愛に包まれた教会共同体に囲まれて秘跡を受けました。

当日に向けて

式典までの日々は挑戦の連続でした。私は3つの仕事を掛け持ちし、夏の間は山中湖のサレジオン修道院で学童保育「くじらっこ」でフルタイム勤務をしながら、学生として2つの資格の勉強を続け、甲府や東京でのボランティア活動にも参加していました。そこでは、私たちの親しい友人である西村知紗さんも一緒でした。これに加え、自分自身の堅信式の行事企画を務め、多くの人々が私に指示を求める中、さらに東京から来てくださった代父母を、自宅に招いていました。疲労と長時間の移動のせいで、前日には交通事故に遭い、車検証を見つけられず警察署に行くことにもなりました。

堅信式の数週間前、私はようやく宮原聡子さんに代母をお願いでき心から安堵しました。神様の導きかのように、さまざまなカトリックの集まりで再会を重ね、彼女を通して数週間前に妹と一緒に青年のための聖年期間中、ローマ巡礼に参加することができました。初めてお会いしたのは、エリ阿斯神父様とレスリー・スワンビーさんが日本に巡礼をしに来られた時でした。レスリーさんは私たち家族の親しい友となり、彼女の霊的指導司祭であるアメリカで有名なロバート・アルティエ神父様のカテキズム講座を私たちに提供してくれました。エリ阿斯神父様は秋田の聖母で私たちに奇跡のメダイを与えてくださり、それがカトリックへの導きとなり、父の霊的指導者のような存在になりました。父の正式な代父であるデイビッド・ヤングさんはシンガポールにいて出席できませんでしたが、東京の古い友人ジョン・F・ケネディさんが急遽代理として務めてくれることになり、父はとても安心していました。妹の代母であるルカシスターも来られませんが、彼女が私たち姉妹を個人的に導いてくださった時間のおかげで、私たちはさらに聖母マリアへの奉獻を深めることができました。

妹の綾子は、前夜に多くの役割を担ってくれました。母と共に代父母を自宅に迎え、手作りのラザニアでもてなしたのです。同じ料理を堅信パーティーでも用意し、多くの時間と労力を注ぎました。母の働きぶりと力強さには、いつも感心させられます。新島での仕事を終えたばかりにも関わらず、山中湖まで運転して自身の代母である濱口シスターに会いに行きました。サレジオン修道院の院長シスターである彼女は、母の堅信の準備のため惜しみなく時間を割いてくださいました。

ミサと堅信式

聖テレジア幼稚園のリズムホールは聖なる空間へと変わり、堅信式ミサが始まりました。梅村司教様が入堂された瞬間から、厳粛でありながら温かい雰囲気になりました。説教は義務や神学的な要点の羅列ではなく、心に触れる物語集のようでした。

特に印象に残ったお話があります。司教様は、とある母親が手の上で豆腐を切っていた時のことを話されました。幼い息子はその姿を見て「お母さん、だめだよ！」と泣き叫びました。母親が自分を傷つけるのではないかと心配したのです。母は笑顔で息子を安心させましたが、その純粋な愛は彼女の心を深く打ちました。後に困難に直面するたびに、その瞬間を思い出し、力を得たといいます。この話を通して司教様は、聖性とは英雄的な行為ではなく、日々の小さな隠れた愛の選択にあると教えてくださいました。都合が悪い時に奉仕すること、苛立っても言葉を慎むこと、敵を赦すこと、誰も見ていない時に祈ること——その積み重ねが聖性だと。

堅信の時が来ると、私は聡子さんと共に祭壇に進みました。梅村司教様と共に牧山神父様、千葉神父様が私たちに按手をし、教会全体の前で祈ってくださいました。その瞬間、千葉神父様が以前、「堅信は個人的な節目ではなく、教会全体に与えられた恵み なのです」と教えてくださいました。司教様が私の額に聖香油を塗られたとき、心の奥から圧倒的な平安を感じ、何かがやっと収まるべき場所に収まったようでした。父は、もう一人の堅信志願者である森麻由美さんが涙に深く打たれているのを見て、「彼女は堅信の意味を理解し、大切に思っている」と強く感じたそうです。

堅信式の後、私は友人の知紗さんを探して心配していました。彼女は埼玉からその日の朝に富士吉田まで来ていて、少し遅れて到着すると言われたからです。彼女は足立区の神の愛の宣教者会(マザーテレサ会)でのボランティアに私たちと一緒に参加し始めていました。聖体祭儀の時に彼女の姿を見て、心から安堵しました。そして彼女は、後のパーティーで準備や片付けに欠かせない存在となりました。



ミサが終わるとすぐに、私は堅信者から行事企画リーダーへと切り替わりました。数か月にわたる準備が実り、たくさんの家族がリズムホールに集まって食事を分かち合い、語り合い、笑い合いました。時には、すべてを調整する責任に押しつぶされそうになりました。「パーティーが完璧に成功するのだろうか」と心配もしました。しかし父は、伝説的なフットボールコーチ、ビンス・ロンバルディさんの言葉を教えてくれました。「完璧は達成できない。しかし完璧を追い求めれば、卓越にたどり着けるのだ。」さらに父は、元テニス女王ビリー・ジーン・キングさんの本『プレッシャーは特権だ』の言葉を通して、挑戦を前向きに受け止めることを教えてくれました。テーブルに並ぶ手作り料理と、交わりの喜びを目にし、堅信の恵みが共同体の生活へとあふれ出すのを感じました。

感謝と振り返り

お祝いの最後に、梅村司教様は印象に残るメッセージをくださいました。ミサの祈りの中で「高齢化と若者不足」への懸念が語られましたが、司教様は微笑みながらこうおっしゃいました。「私はそうは思いません。今日は多くの若者が堅信を受け、また様々な国から来た人々が集まっていました。この教会は元気で、皆が明るい。そこに希望を見ました。また戻ってくる日を楽しみにしています。」

パーティーが終わり、教会の方々が積極的に片付けに参加しているところを見た司教様は私にこう言われました。「皆が互いに助け合おうとしている姿を見るのは素晴らしいことです。そういうことはあまり見られませんよ！」私は、このように生き生きと多様性にあふれる教会共同体に誇りと感謝を強く感じました。この特別な日に、東京のサレジアンのシスターズや足立区の神の愛宣教者会のシスターズを招待できなかったことを悔やみましたが、それでもこの日は恵みに満ち溢れていました。



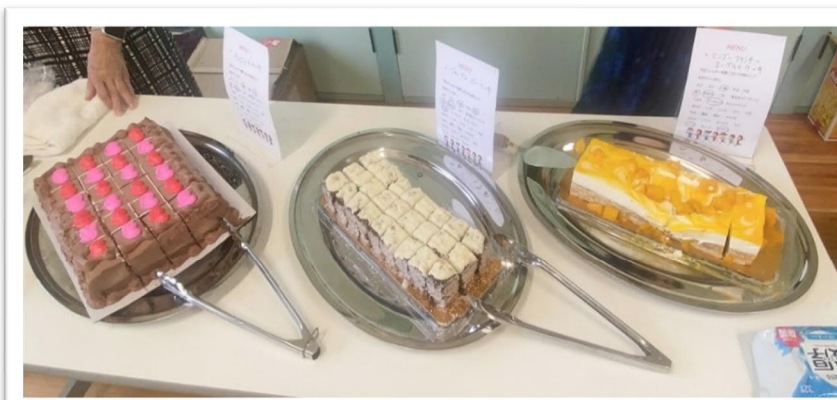
振り返れば、この日は私の人生で最も忘れられない日の一つとなりました。堅信を受け、人々に仕えることを通して、信仰は壮大な行動だけで示されるのではなく、食卓を整えるたびに、客を迎えるたびに、愛の行為を捧げるたびに、日常の中でこそ生きるのだと改めて思いました。主イエスが教えられたように、「まことに、あなたがたがこれらの私の兄弟である最も小さい者の一人にしたのは、私にしてくれたのである」(マタイ 25:40)。私にとって堅信は単なる儀式ではなく、生涯にわたる恵みの旅路の始まりだと強く感じました。

受け継がれる信仰～初聖体おめでとう

8月17日、小さき花幼稚園のリズムホールで行われた主日のミサで、聖母マリアの被昇天のお祝いとともに、4人のこどもたちが初聖体を受けました。



いつもミサの中で、おとなたちやお兄さん、お姉さんたちが、御聖体拝領をする姿を見ながら、「どんな味がするのかな、僕も、私も、いただしてみたいな」と、ずっと思っていたのではないのでしょうか。ミサ後のプチパーティで初聖体の感想を尋ねられると、みなニコニコ顔ではにかみながら「うれしかった」と答えてくれました。



おいしいケーキとお茶が用意され、お菓子がたくさん詰まったピニャータ割りでは大いに盛り上がり、信仰が受け継がれていくことを共同体みなで祝いました。

初聖体を受けたこどもたちが、イエスが私たちのうちに入ってくださる喜びを感じて、ともに力強く信仰の道を歩んでくれますように。

8月教会委員会議事録

2025年8月9日

参加者:千葉神父・新井・江守・大野・小林・佐々木(成)・佐々木(綾)・曾根・福永・和田

1. 8/17 聖母被昇天ミサおよび 8/24 堅信式ミサ関連

*両者を予定通り実施することについて

・堅信式と初聖体は典礼として同時にできるが、今回は別に行う。

・8/17 は堅信式のリハーサルとして行う。

・聖体拝領の順番 子供→親→日曜学校リーダー→一般

・ミサ後プレゼント・挨拶・証明書

*堅信式のリハーサル 24 日当日 AM8:30～

*リモートミサの可能性等について

・16 日(土)にカメラ HDMI ケーブルをつなぐ(2階ベランダからチューリップ組へ降ろす)

・歩行器・車いすの方々にチューリップ組で参加いただく。

*ヨハネ会・サレジオンシスターズ・小さき花幼稚園の先生方への参加お誘い

・千葉神父からお誘いする。(堅信式)サレジオンシスターズの送迎は大野さん

*受堅者(11名)・初聖体者(4名)の立ち位置について

・ステージの上横一列に並ぶ。[堅信式は年齢順]

・受堅者のネームプレートを後列の代父母が持つ。プレート作成担当は大野さん(堅信式)

*8/17 聖母の被昇天お祝いプチパーティーメニュー

ケーキ(コストコ)お菓子・飲み物(麦茶・コーヒー・ジュース)かき氷

*24 日堅信式お祝いメニュー

卵スープ・炊き込みご飯類・赤飯・巻き寿司・ラザニア・パン・ポテトサラダ・トマトサラダ・煮卵・パウンドケーキ・唐揚げ・果物・トウモロコシ・漬物・飲み物・かき氷等

*会場お花

・現在猛暑でお花の持ちが悪いため、造花になっているが、お祝い日なので生花にしたい。

・野口さんをお願いする

*リズムホール準備 8/16(土)13 時より

・ダルクさんに応援いただく。

・テレビ、オルガン、テーブル、椅子は24日迄そのまま置く

*駐車場案内 8/17・24(山田・東海林)24(相元)

*聖歌隊練習 8/16(土)13 時 30 分～ 8/17(日)聖母の被昇天パーティの後～

*堅信式式次第印刷 8/10(日)

2. 行事企画グループ

*感謝と喜びの集い(11/23)寄付先について

・これまで「クリスマス献金」については地域で活動する団体へ。「感謝と喜びの集い」に関しては幅を広げて飢餓などで苦しむ世界で活躍する団体へ寄付していた。

・地域で活動するグループに対しての寄付は何年かに一度の割合となっている。

・「信徒有志家庭菜園」系の年間献金も長年、飢餓で苦しむ子供たちのためという思いで集いの収益に載せて全額寄付していた。

- ・「感謝と喜びの集い」の献金先として、クリスマス献金リストの 1 団体を入れる。また「敬老のお祝いクッキー」をクリスマス献金リストの 1 団体を加えることにして、地域の団体の寄付サイクルを縮めることとする。
- ・本年度の「感謝と喜びの集い」寄付先は「国連 WFP」、「明泉会インドスポンサーシッププログラム」、「神の愛の宣教者会」、「くるみ福祉作業所(忍野)」とする。
- ＊敬老のお祝い
- ・対象者は36 名
- ・詳細については 8/31 企画グループ打合せの中で予定

3. シスター滝口の勉強会について

- ＊千葉神父から、講座内容は「『カトリック教会のカテキズム』の内容」とお願いした。
- ＊日にちを固定できるか？回数を決める？内容など次回検討する。
- ＊連絡担当:曾根さん
- ＊年末に何らかのお礼をしたい。(プリント・交通費などご負担いただいている)日曜学校のシスターにも

4. 一粒会大会の件

- ＊10/13(函嶺白百合学園 箱根強羅)
- ・山梨地区でバスを用意する。
- ・甲府教会→韮崎教会→富士吉田教会
- ・富士吉田教会 AM7:00 集合 AM9:00 会場 PM2:30 解散
- ・締め切りの日付は？現在8名位参加予定
- ・山梨地区の一粒会大会の準備を始める。係などを募集する。

5. 典礼グループ

- ＊葬儀のしおりについて
- ・11 月の死者の月に配布予定

6. 広報グループ

- ＊ポスター作成堅信式及び聖母の被昇天お祝い、英語版おとずれ作成
- ＊9月号おとずれ 締め切り 8/22(金)巻頭文佐々木成子、2 ページ目初聖体の感想(子供)
- ・8/30(土)PM1:00～印刷

7. 財務チーム

- ＊共同宣教司牧サポートチーム神奈川、管理・運営奉仕者養成コースに参加して
- ・高齢化が進み若い信徒が不足、各教会とも規約はあるが、同じ委員が長年奉仕をしている現状
- ・富士吉田教会としては、現在、教会墓地が問題となっていることを説明。ご意見をいただく。
- ＊8 月中に来年度予算申請書をデータで送信予定。9 月 13 日を目途に返送してほしい

8. 営繕グループ

- ＊聖堂入口ドア開放ストッパー検討中
- ＊聖堂メンテナンス(聖堂机木部塗装、入口コンクリート部のひび割れ補修)9～10 月あたりから作業開始予定。
- ＊聖堂窓枠、床下状態、目視で毎週確認。
- ＊ツバメの巣撤去作業終了

9. その他

＊横浜教区カテキスタ会公開講座

・「信徒の奉仕職～カテキスタ・祭壇奉仕者・朗読奉仕者」9/20(土)@雪の下教会

・参加費 1000 円 とりまとめ担当:曾根さん

＊甲府教会 100 周年のお祝いの件

お祝いとして1万円を差し上げる。

＊大掃除の反省

・時期を考えてほしい。暑い時ではなく。草取りは熱中症になるので途中から中止した。

教会日誌（2025 年7月16日～2025 年8月15日）

【7 月】

19 日(土)霊における会話ファシリテーター養成講座(第 3 回)於:藤沢教会(小林)

20 日(日)ヘイリー ユア・ズィータ・ヤブトちゃん洗礼式

聖歌隊練習

山梨地区共同宣教司牧委員会 於:韮崎教会

25 日(金)おとずれ 8 月号、印刷・発送作業

26 日(土)管理・運営奉仕者養成研修(第 3 回)於:横浜司教館(江守)

27 日(日)聖堂にて、セコム担当者による AED 機器使用講習会

29 日(火)サレジオンシスターズ山中修道院にて

Sr.滝口の「成人のためのカトリック信仰講座」

【8 月】

3 日(日)夏の大掃除

9 日(土)教会委員会

10 日(日)堅信式パンフレット完成及び印刷

教会記録

◎7月 20 日 洗礼 おめでとうございます
ヘイリー・ユア・ズィータ・ヤブトちゃん

◎7 月 17 日 初聖体 おめでとうございます
アンダモ・スティーペン・ダリル
ゲン・ニヤット・ミン
マリア・ファウスティナ遠藤彩葉
フランシスコ遠藤楓仁

◎8 月 10 日 帰天 永遠の安らぎのうちに
マリア・エリザベット・テレジア和田綾子様

◎8 月 24 日堅信 おめでとうございます
テレジア大野純佳
フランシスコ吉村希望
アウグスティノ山田健太
ペトロ山田信一
ペトロ中田一雄
シャニヤ・デライニ・アンダモ
アグネス佐々木綾子
カブリーニ佐々木成子
テレーズ佐々木淳子
スティーブン・アウグスチノ・ザビエル
テレジア森麻由美

こよみ

9月

日付	教会暦	行事内容等	日曜学校	掃除リーダー
9/7(日)	年間 第23主日		×	大野
9/13(土)		教会委員会		
9/14(日)	年間 第24主日	敬老のお祝い	×	新井・福永
9/21(日)	年間 第25主日	聖歌隊練習	×	和田
9/24(水)		ポーランド巡礼団10時～		
9/28(日)	年間 第26主日		×	江守

御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

イタリア語教室(月曜10時):8, 22, 28

10 月予定

- ・5 日(日) 年間第 27 主日 日曜学校 2 学期始業式 ロザリオの祈り 聖ヨハネ学園祭
- ・11 日(土) 教会委員会
- ・12 日(日) 年間第 28 主日 信徒の集い(予算報告)
- ・13 日(月) 一粒会大会 函嶺白百合学園
- ・19 日(日) 年間第 29 主日 世界宣教の日 聖歌隊練習
宣教司牧委員会(富士吉田教会リズムホール)
- ・26 日(日) 年間第 30 主日

9月のミサ奉仕

日	先唱	第1朗読	第2朗読	香部屋
7	小林恵美子	東海林義夫	堀内千鶴	角幸子
14	東海林義夫	佐々木成子	曾根美香	小林恵美子
21	遠藤伸子	大野隆	グエン・ティ・カ	曾根美香
28	江守香代子	山田恵子	佐々木綾子	中村すみ子